



平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年1月31日

上場会社名 エステー株式会社
コード番号 4951 URL <http://www.st-c.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 鈴木 貴子

問合せ先責任者 (役職名) 執行役 (氏名) 吉澤 浩一

TEL 03-3367-6314

四半期報告書提出予定日 平成31年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	37,422	0.2	2,364	19.7	2,370	18.7	1,521	20.5
30年3月期第3四半期	37,503	5.0	2,945	5.5	2,914	8.5	1,914	13.2

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 305百万円 (91.1%) 30年3月期第3四半期 3,426百万円 (70.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	68.93	68.64
30年3月期第3四半期	87.14	86.51

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第3四半期	41,820	28,476	66.7	1,262.10
30年3月期	42,112	29,021	67.3	1,285.01

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 27,874百万円 30年3月期 28,351百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		13.00		18.00	31.00
31年3月期		18.00			
31年3月期(予想)				18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	2.8	2,950	15.2	2,850	17.9	1,850	23.2	83.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	23,000,000 株	30年3月期	23,000,000 株
期末自己株式数	31年3月期3Q	914,460 株	30年3月期	937,081 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	22,080,116 株	30年3月期3Q	21,969,335 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

平成31年1月31日(木)の第3四半期決算発表後、速やかに当社ウェブサイト「エスター資料室」に掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、成長を持続する世界経済を背景に企業収益の回復や雇用情勢の改善が進み、個人消費も底堅く推移するなど、回復基調は継続しました。一方、米中貿易摩擦の懸念や天候不順による経済への影響、不安定な株式市場の動向等、依然として先行きに対する不透明感は継続しております。

こうした状況の中、当社グループはブランド価値経営の下、今期から規模拡大に向け「既存事業シェアNo.1」「新分野・新市場」「海外事業」「サーモケア」「成長に向けた体制づくり」の5つの重点ポイントに取り組んでおります。

その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、主要カテゴリーであるエアケア（消臭芳香剤）は堅調を維持したものの、暖冬の影響からサーモケア（カイロ）が大きく落ち込んだことから、374億22百万円（前年同期比0.2%減）となりました。

利益面では、原材料及び商品の仕入価格の高騰や戦略的な国内外のマーケティング投資を行ったことによる費用の増加等により、営業利益23億64百万円（同19.7%減）、経常利益23億70百万円（同18.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益15億21百万円（同20.5%減）となりました。

当社グループの事業セグメントは、「生活日用品事業」の単一セグメントとしておりますが、カテゴリー別の業績は以下のとおりであります。

エアケア（消臭芳香剤）は、マーケットの拡大に向け戦略的な広告宣伝と効率的に連動させた販売促進活動を進めた結果、「消臭力」ブランドの主力製品の売上が堅調に推移した他、上質な香りにこだわった「消臭力 Premium Aroma」シリーズにトイレ用・車用のラインアップを追加することで市場を活性化し、売上高は166億64百万円（前年同期比1.9%増）となりました。

衣類ケア（防虫剤）は、前期に比べ今春の衣替えシーズンが前倒しとなったことで当期売上のマイナス要因になったものの、「かおりムシューダ BOTANICAL」等の新製品によりシェア拡大に努めた結果、売上高は63億30百万円（同0.8%増）となりました。

サーモケア（カイロ）は、当期立ち上げた温熱商品の“冷え”をテーマに働く女性の毎日をサポートする新ブランド「On Style」シリーズが売上の増加に寄与したものの、暖冬の影響により市場が全体的に停滞した結果、季節商材の使い捨てカイロが大きく落ち込み、売上高は45億54百万円（同12.3%減）となりました。

ハンドケア（手袋）は、機能性を高めた業務用手袋が好調に推移したことにより、売上高は42億60百万円（同3.3%増）となりました。

湿気ケア（除湿剤）は、見た目がスタイリッシュな新製品「ドライペット クリア」が売上の増加に寄与したことにより、売上高は24億77百万円（同1.4%増）となりました。

ホームケア（その他）は、前期立ち上げた新ブランドから発売した「洗浄力 モコ泡わ トイレクリーナー」、「洗浄力 モコ泡わ ノズル専用クリーナー」が売上の増加に寄与し、売上高は31億34百万円（同1.1%増）となりました。

カテゴリー	売上高	前年同期比
エアケア（消臭芳香剤）	16,664百万円	1.9%増
衣類ケア（防虫剤）	6,330百万円	0.8%増
サーモケア（カイロ）	4,554百万円	12.3%減
ハンドケア（手袋）	4,260百万円	3.3%増
湿気ケア（除湿剤）	2,477百万円	1.4%増
ホームケア（その他）	3,134百万円	1.1%増

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して2億91百万円減少し、418億20百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少11億86百万円、受取手形及び売掛金の増加14億13百万円、有形固定資産の増加14億83百万円、投資有価証券の減少17億20百万円等であります。

負債は、前連結会計年度末と比較して2億54百万円増加し、133億44百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加6億84百万円、電子記録債務の増加4億57百万円、未払法人税等の減少4億85百万円、繰延税金負債の減少3億88百万円等であります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して5億45百万円減少し、284億76百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加7億15百万円、その他有価証券評価差額金の減少11億97百万円等であります。

以上の結果、自己資本は278億74百万円、自己資本比率は前連結会計年度末と比較して0.6ポイント減少し、66.7%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成30年10月24日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表しました通期連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,909,653	10,723,017
受取手形及び売掛金	5,430,317	6,843,490
商品及び製品	4,928,159	4,589,355
仕掛品	250,815	243,370
原材料及び貯蔵品	832,014	873,856
その他	389,658	441,652
貸倒引当金	△4,496	△5,577
流動資産合計	23,736,123	23,709,165
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,076,591	4,589,652
機械装置及び運搬具（純額）	975,110	1,193,063
工具、器具及び備品（純額）	282,618	269,420
土地	3,417,891	3,415,125
リース資産（純額）	402,123	290,565
建設仮勘定	776,318	655,931
有形固定資産合計	8,930,653	10,413,759
無形固定資産	261,696	229,753
投資その他の資産		
投資有価証券	8,085,961	6,365,428
長期貸付金	11,976	10,183
退職給付に係る資産	8,893	9,331
繰延税金資産	56,576	51,148
その他	1,020,557	1,032,152
投資その他の資産合計	9,183,965	7,468,244
固定資産合計	18,376,315	18,111,756
資産合計	42,112,438	41,820,922

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,196,556	2,881,286
電子記録債務	3,624,136	4,081,853
短期借入金	174,017	406,809
リース債務	201,484	215,704
未払金	2,570,311	2,609,315
未払費用	560,372	388,644
未払法人税等	632,491	147,422
未払消費税等	45,592	46,671
返品調整引当金	127,100	54,100
営業外電子記録債務	51,397	42,500
その他	57,739	171,607
流動負債合計	10,241,197	11,045,916
固定負債		
リース債務	233,344	99,803
繰延税金負債	806,033	417,547
再評価に係る繰延税金負債	262,175	262,175
役員退職慰労引当金	123,966	114,716
役員株式給付引当金	62,244	69,573
退職給付に係る負債	1,257,039	1,279,236
その他	104,604	55,796
固定負債合計	2,849,408	2,298,849
負債合計	13,090,606	13,344,766
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,065,500	7,065,500
資本剰余金	7,067,815	7,067,815
利益剰余金	12,830,302	13,546,169
自己株式	△1,229,971	△1,200,808
株主資本合計	25,733,645	26,478,676
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,440,393	2,242,636
土地再評価差額金	△537,202	△537,202
為替換算調整勘定	△263,630	△292,546
退職給付に係る調整累計額	△22,178	△17,334
その他の包括利益累計額合計	2,617,382	1,395,553
新株予約権	19,293	17,133
非支配株主持分	651,510	584,793
純資産合計	29,021,832	28,476,156
負債純資産合計	42,112,438	41,820,922

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	37,503,445	37,422,254
売上原価	22,014,828	22,131,895
売上総利益	15,488,617	15,290,359
返品調整引当金繰入額	53,100	54,100
返品調整引当金戻入額	108,200	127,100
差引売上総利益	15,543,717	15,363,359
販売費及び一般管理費	12,598,465	12,998,992
営業利益	2,945,251	2,364,366
営業外収益		
受取利息	5,438	5,257
受取配当金	95,612	106,615
仕入割引	114,345	114,106
持分法による投資利益	-	22,682
その他	150,191	143,588
営業外収益合計	365,587	392,249
営業外費用		
支払利息	151	5,201
売上割引	371,683	371,216
持分法による投資損失	12,631	-
その他	11,903	9,462
営業外費用合計	396,370	385,880
経常利益	2,914,469	2,370,736
特別利益		
固定資産売却益	830	599
投資有価証券売却益	-	171
特別利益合計	830	771
特別損失		
固定資産除売却損	16,220	6,557
投資有価証券評価損	32,530	-
特別損失合計	48,750	6,557
税金等調整前四半期純利益	2,866,548	2,364,950
法人税、住民税及び事業税	788,453	674,022
法人税等調整額	114,987	153,754
法人税等合計	903,441	827,776
四半期純利益	1,963,107	1,537,173
非支配株主に帰属する四半期純利益	48,781	15,276
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,914,326	1,521,897

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	1,963,107	1,537,173
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,385,613	△1,197,252
為替換算調整勘定	64,775	△24,939
退職給付に係る調整額	15,297	4,844
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,832	△14,421
その他の包括利益合計	1,463,854	△1,231,770
四半期包括利益	3,426,962	305,403
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,356,762	300,068
非支配株主に係る四半期包括利益	70,200	5,335

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

記載すべき重要な事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

当社グループは、「生活日用品事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。